



ふるさと便り

●徳島県鳴門市 賀川豊彦の復興支援を展示

神戸出身の社会運動家・賀川豊彦(1888～1960年)＝写真＝が尽力した関東大震災の復興支援を振り返る特別企画展が徳島県の「鳴門市賀川豊彦記念館」で開かれている。

賀川は大震災翌日の1923年9月2日、神戸を出港。横浜から東京に入り、被災状況や被災者が何を必要としているかを調査した。その後、義援金を集めるため



に全国各地で講演し、10月に再上京。炊き出しや入浴サービスを行った。

企画展「賀川豊彦と関東大震災～南海トラフ地震に備えて」では、大震災直後に賀川がたどった足跡や生々しい被災地の写真に加え、1707年の宝永地震など南海トラフを震源とする過去の地震の資料や新聞記事などを大型パネルで展示している。9月29日まで。